

# 1995.1.17 語り継ぐ教訓

# 地震保険普及は代理店としての使命

## 20年の節目に被災代理店が振り返る



(左から) 岡本 博氏、松山 敦洋氏、多淵 睦氏

今年1月17日、阪神・淡路大震災発生から20年を迎える。その節目に、兵庫県代協所属の被災代理店に当時のことを振り返ってもらった。また、同代協では20年の震災メモリアル事業を展開している。話を伺ったのは、多淵睦氏(株式会社IMS)、松山敦洋氏(あんしん保険サービス株式会社)、岡本博氏(有明社中東エージェンツ)、同代協副会長兼阪神・淡路大震災20年特別事業委員会委員長の3氏。その体験談はいずれも生々しく、貴重な教訓として後世に伝えるべきものだった。

### 自宅が倒壊、次の日に仕事再開

多淵氏

### 住み慣れた町が一面焼け野原

松山氏

— 地震発生時の状況についてお願いします。  
多淵 自宅兼事務所があった神戸市東灘区は、阪神高速道路神戸線の橋脚が倒壊したあの一帯で、家屋の倒壊など最も被害が大きかった地域です。自宅は全壊でした。2階で寝ていたのですが、西のほうから「ごおー」という地震音が聞こえた瞬間、電気が落ちたようなものすごい

音とともに家全体が傾きました。倒壊した家から放り出されました。幸い、いくつもの偶然が重なったおかげで、奇跡的に家族全員がケガもなく無事でした。自宅の南側が臨時の駐車場になっていて、本当だったら家ごと地面に叩きつけられていたところが、駐車してあった車の上に家が落ちていました。地震発生時は、すごい揺れで飛び起きました。自宅は木造2階建てで、2軒の家の間に建っていたので、揺れが2層(二ノイチ)にわたって伝わりました。それと、また前年の暮れの大掃除の際に、タンスなどの家具をすべて北側から南側に移動していたことで、上から落ちてくる物がほとんどなかった

こともあり、助かりました。今は笑い話にできるのですが、倒壊した家から何とか這い出し、大声で「みんな生きとるか?」と呼びかけると、当時小学生だった娘が「死んだら声は出ません」と返ってきて、ホッとしました。松山 住まいと事務所は神戸市長田区です。地震発生時は、すごい揺れで飛び起きました。自宅は木造2階建てで、2軒の家の間に建っていたので、揺れが2層(二ノイチ)にわたって伝わりました。それと、また前年の暮れの大掃除の際に、タンスなどの家具をすべて北側から南側に移動していたことで、上から落ちてくる物がほとんどなかった

した。2メートルほど離れた隣の1戸建ての家は、下からのものすごい力で突き上げられ、左右に真二つに分かれていました。歩いて5分ほどの事務所もひどい状態でした。

長田区は、地震直後から大規模な火災が発生し、壊滅的な被害となりました。避難した公園からその光景を目の当たりにしました。ほとんど燃え尽き、いすれこちらに来るのではと不安でした。100メートルほど手前まで火が来ていたが、幸い自宅は火災を免れました。ただ、長年住み慣れた町が一面焼け野原となり、呆然となりました。

— 今後の避難生活、代理店としての活動については。  
多淵 自宅が倒壊する二つに分かれていました。歩いて5分ほどの事務所もひどい状態でした。長田区は、地震直後から大規模な火災が発生し、壊滅的な被害となりました。避難した公園からその光景を目の当たりにしました。ほとんど燃え尽き、いすれこちらに来るのではと不安でした。100メートルほど手前まで火が来ていたが、幸い自宅は火災を免れました。ただ、長年住み慣れた町が一面焼け野原となり、呆然となりました。

— 今後の避難生活、代理店としての活動については。  
多淵 自宅が倒壊する二つに分かれていました。歩いて5分ほどの事務所もひどい状態でした。長田区は、地震直後から大規模な火災が発生し、壊滅的な被害となりました。避難した公園からその光景を目の当たりにしました。ほとんど燃え尽き、いすれこちらに来るのではと不安でした。100メートルほど手前まで火が来ていたが、幸い自宅は火災を免れました。ただ、長年住み慣れた町が一面焼け野原となり、呆然となりました。

— 今後の避難生活、代理店としての活動については。  
多淵 自宅が倒壊する二つに分かれていました。歩いて5分ほどの事務所もひどい状態でした。長田区は、地震直後から大規模な火災が発生し、壊滅的な被害となりました。避難した公園からその光景を目の当たりにしました。ほとんど燃え尽き、いすれこちらに来るのではと不安でした。100メートルほど手前まで火が来ていたが、幸い自宅は火災を免れました。ただ、長年住み慣れた町が一面焼け野原となり、呆然となりました。

### 震災メモリアル事業を展開

### 経験と教訓を次代へ伝え、つなぐ

— 兵庫県代協でも地震保険普及に向けた活動をされていますね。  
岡本 兵庫県の火災保険への地震保険付帯率は、残念ながら全国平均を下回っています。火災保険とのセット加入となっているわけですから、販売する代理店の責任は非常に重いと感じています。損保協会とも協力し、被災者の財産を守るための活動を含め代協

— 今後の避難生活、代理店としての活動については。  
多淵 自宅が倒壊する二つに分かれていました。歩いて5分ほどの事務所もひどい状態でした。長田区は、地震直後から大規模な火災が発生し、壊滅的な被害となりました。避難した公園からその光景を目の当たりにしました。ほとんど燃え尽き、いすれこちらに来るのではと不安でした。100メートルほど手前まで火が来ていたが、幸い自宅は火災を免れました。ただ、長年住み慣れた町が一面焼け野原となり、呆然となりました。

— 今後の避難生活、代理店としての活動については。  
多淵 自宅が倒壊する二つに分かれていました。歩いて5分ほどの事務所もひどい状態でした。長田区は、地震直後から大規模な火災が発生し、壊滅的な被害となりました。避難した公園からその光景を目の当たりにしました。ほとんど燃え尽き、いすれこちらに来るのではと不安でした。100メートルほど手前まで火が来ていたが、幸い自宅は火災を免れました。ただ、長年住み慣れた町が一面焼け野原となり、呆然となりました。

### 兵庫県代協

# 阪神・淡路大震災から20年

— 今後の避難生活、代理店としての活動については。  
多淵 自宅が倒壊する二つに分かれていました。歩いて5分ほどの事務所もひどい状態でした。長田区は、地震直後から大規模な火災が発生し、壊滅的な被害となりました。避難した公園からその光景を目の当たりにしました。ほとんど燃え尽き、いすれこちらに来るのではと不安でした。100メートルほど手前まで火が来ていたが、幸い自宅は火災を免れました。ただ、長年住み慣れた町が一面焼け野原となり、呆然となりました。

— 今後の避難生活、代理店としての活動については。  
多淵 自宅が倒壊する二つに分かれていました。歩いて5分ほどの事務所もひどい状態でした。長田区は、地震直後から大規模な火災が発生し、壊滅的な被害となりました。避難した公園からその光景を目の当たりにしました。ほとんど燃え尽き、いすれこちらに来るのではと不安でした。100メートルほど手前まで火が来ていたが、幸い自宅は火災を免れました。ただ、長年住み慣れた町が一面焼け野原となり、呆然となりました。